

学校名 川越市立砂中学校
所在地 川越市大字砂260番地
電話 049-242-6588

1 本校の概要

全校生徒394名、12学級の中規模校で、学校教育目標「心身ともにたくましい生徒・自主的に学習する生徒・思いやりをもち協力する生徒」とし、「生徒が学んでよかった 保護者が通わせてよかった 教職員が勤めてよかった」と思える学校を目指して日々教育活動に取り組んでいる。特に今年は安全教育、防災学習に力を入れている。

2 本校の実践

(1) 実践の視点

- ・読書に親しむ態度や読書習慣に係る取組
- ・司書教諭・学校司書などを活用した取組
- ・家庭や地域との連携
- ・その他、特色のある読書活動の取組

(2) 実践の概要

全校生徒が読書に親しむ態度や読書習慣を身に付けた取組や地域との連携、環境整備の工夫、また今年度よりNIE実践指定校となったことに加え、次のような様々な活動に取り組んでいる。

ア 朝読書の推進

全校で朝の会の前に朝読書を行っている。先生も生徒も集中して本を読む「静」の活動から学校生活の一日がスタートし、落ち着いてその後の授業に臨むことができる。（写真①）



写真①

イ 図書委員会の活動



写真②

学校図書館を積極的に活用してもらうため、1学期と2学期の読書週間において「図書ガチャ」を利用して「運命の本」「ブック・ハンティング」を行った。（写真②）またポスターやお昼の放送でそれらの広報活動を実施した。その結果、

図書館へ足を運ぶ生徒が多くなった。

ウ 図書館だよりの発行

学校司書より月1回「図書館だより」を発行している。（写真③）学校図書館に入った新しい本や図書委員会のイベント等を紹介して、読書に親しめるような



写真③

記事をつくっている。

エ 地域の方による読み聞かせ

地域の方の協力で、全校で読み聞かせを行っている。（写真④）自分が本を読んでいる場合との違いや、読んで聞かせるための工夫など、違った視点での読書活動を学ぶことができている。今年は11月27日に実施した。



写真④

オ NIEの汎用

令和6年度より2年間NIE実践指定校となり、日々届く4～5紙を校内の階段に一面掲示している。（写真⑤）また、図書館では中高生新聞を掲示して新聞から様々な情報を学べるような



写真⑤



写真⑥

環境設定を整えている。（写真⑥）

「一緒に読もう新聞コンクール」に出品し、県代表2作品が全国へ出品されている。

カ 防災コーナーの設置

防災や安全に力を入れている今年は生徒も興味をもつ本をコーナーで紹介（写真⑦）して知識が増えるようにしている。



写真⑦

3 成果と今後の課題

(1) <成果>

- ・本や新聞に対しての興味・関心が深まり、それらを手に取る生徒が着実に増えてきている。
- ・生徒の「読む力」や「様々な媒体から情報を得て選択する力」が、少しずつだが高まってきている。

(2) <課題>

- ・図書館が教室から遠く、気軽に足を運べていないため、今後はより一層、生徒の足が向く魅力ある図書館づくりが求められる。
- ・学校司書と図書委員会の連携を今後さらに活発化させ、併せて生徒主体の読書活動を増やしていくことにより、「本への親しみ」や「本を身近に感じられる」ことが、さらに増すものと考えている。